



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

道徳教育

『生命を尊重し、思いやりの心や人のために行動する心を育てる』

入谷小学校における道徳教育の重点目標です。

道徳が「特別の教科 道徳」として、小学校の中でスタートしたのが平成30年度でした。今年度で4年目を迎えます。道徳の授業は週1時間、一年間で見えていくと、1年生は34時間、2年生以上は35時間を標準とし、学習指導要領に示されている内容項目について、道徳科として授業を行っています。

道徳の授業では、道徳的価値の大切さを理解すること、しかし同時にその価値の大切さは理解できるけれど、実際に行動していくのは難しくてなかなかできないという人間理解、そして友達との交流の中で、いろいろな考え方や感じ方があることの理解を通して、自己を見つめ自分との関わりで考え、自己の生き方について考えを深めていくことができるようになることを目指して工夫しながら授業を行っています。

また、1時間の道徳の授業の中で学習した内容と他の教育活動とを繋げて捉えていくことで、道徳教育を充実させ、冒頭に書かせていただいた道徳教育の重点目標に向け、子供たちの心を育成していくように学校全体で取り組んでいます。

今、子供たちは、様々な植物を育てています。1年生は朝顔を育てていますが、「見て見て。朝顔がまた伸びている。」と言って、自分の朝顔が成長していることを毎朝

話してくれる1年生がいます。お水もたっぷりあげている様子は、微笑ましいです。そんな時に、私は、意識的に、「朝顔もみんなと同じように生きてるんだね。」「お水を飲んで嬉しいんじゃないかな。」等と様子を見ながら一言返すようにしています。

内容項目の一つである『自然愛護』として低学年は、「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること」の大切さを道徳の授業で学習しますが、この1年生は、毎朝、優しい気持ちで朝顔と接しています。植物に向かう優しい思いを大切に持ち続けていけるようにと願い、積極的に言葉をかけています。

『自然愛護』のみならず、様々な行為の背景にある価値を見出し、子供たちが無自覚に行っている行為から見とれることを言葉に出して価値づけていくことで子供の心を育てていきたいと思えます。

上級生の姿

入谷東3丁目・4丁目方面から登校してくる子供たちが、車の通りの多い場所を渡る際、「お互いに譲り合って一列になって安全に渡るように行動していて素晴らしいですよ。」と、入谷っ子まもり隊の方からお話をいただきました。登校班長が自分たちで考え、安全に気を付けて行動できていることを頼もしく思いましたし、その姿を下学年の子供たちはよい手本として目と心に焼き付けていることと思えます。よい伝統は日常の何気ない動きの中からも引き継がれていきます。上級生に感謝です。